



▲二十歳の門出を祝いました

1月8日に開催された播磨町二十歳のつどいと加古郡消防協会出初め式に出席しました。二十歳のつどいでは、晴れ着姿で大人の仲間入りをした若者が、夢や目標に向かって挑戦する決意を固めている姿は、凛としていて頼もしくもあり、これまで深い愛情を注いでこられたご家族の方の感慨も一入のことと思います。二十歳の未来ある若者の皆様は、何事にも失敗を恐れず「挑戦」してほしいと思います。人生で後悔するのは「挑戦」しなかった時です。これからの人生で迷ったときは必ず「挑戦」してください。結果はどうであれ、必ずその先には「挑戦」して良かったという満足感を得られるはずですよ。

また、出初め式では、播磨町消防団の規律正しく統率のとれた隊列を拝見し、町の安全・安心を担っていただいていることに改めて感謝の気持ちを強くしました。その中で、女性分団が、発足以来の念願叶い、今秋に開催される全国女性消防操法大会に初出場します。演劇などの啓発活動を通して、災害対策、予防活動を続けてこられた賜物だと思います。団員の皆様は夢の舞台上で大いに「挑戦」してきてください。

幼少期から私自身も色んなことに「挑戦」してきました。その環境がいかに幸せであったか、そのことに感謝の気持ちでいっぱいです。

令和5年も町が将来にわたって発展していくよう、「挑戦」してまいります。皆様の身近な事業から、大きな夢の事業へとまちづくりの構想は果てしないですが、ひとつひとつ真摯に取り組み、「ワンチームはりま」の旗印のもと、みんなで考え、みんなで話し合い、みんなの力を合わせたまちづくりを実現していきましょう。

播磨町長 佐伯 謙作



あんぜん・あんしん暮らしのメモ帳

播磨町消費生活センター ☎079-435-1999

ご相談は…お電話ご来訪どちらでもご相談ください。ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。

▶相談日時 ※専門の相談員が相談に応じます。
毎週月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
9時～12時 13時～16時

「カニや海産物が届いた！」
送り付けトラブルにご注意ください!!

事例
海産物の業者から電話があり、「カニが入った海産物が1万円と格安で、気に入らなければ商品が届いた時点で返送をしてもらえばよい」と勧誘されて、聞かれるままに自分の住所や名前、電話番号を答えたが、やっぱり要らないと思って電話の途中で断った。だが、数日後にカニが入った荷物が届いた。どうしたらよいのか。

ひと言助言
●突然、知らない事業者から電話があり、カニや海産物の購入を勧められて断ったのに、数日後に荷物が届く「送り付け商法」の相談が寄せられています。
●「新型コロナウイルスの影響で商品が

売れず支援してほしい」などと必要以上に情に訴えてくるケースもあります。勧誘が強引など少しでも不審な点があった場合は、相手と話し込まずにきっぱりと断りましょう。
●一方的に商品が届いた場合は、送り主の名称や住所などの情報を保存してから、受け取り拒否をして、代引き配達の際は代金を支払わないようにしましょう。
●万一、代金を支払ってしまった場合でも、一方的に送り付けられた商品だとわかっていたら、事業者自身に覚えのない商品であると伝えて返金の依頼が可能です。
●困った時は、播磨町消費生活センターにご相談ください



楽屋裏

広報はりまは、毎月26日に発行しています。自治会の協力を得て配布しているほか、役場や町内の公共施設で受け取ることができます。
最近、公共施設や役場で広報はりまを受け取る人が増えていきます。企画課では、広報はりまと同時に配布される印刷物も集めてお渡ししています。また、町ホームページやスマートフォンアプリ「マチイロ」で、広報はりまのPDFをご覧いただけますのでご利用ください。(宮)



団体名 播磨町連合婦人会

会長 吉村ヨシエさん

播磨町で活動する人・仲間たち(団体)を紹介します。お問い合わせは企画課秘書広報係まで。
☎079-435-0356



どんな人が集まっているのですか
50代から80代までの女性が構成されています。各地区単位の婦人会活動が困難となったことから、「播磨町連合婦人会」として統合されました。

- 活動内容を教えてください
- 【令和4年度事業内容】
- 4月 総会、枕作り
 - 5月 懇親会
 - 6月 議会傍聴、講演会
 - 7月 ボッチャ交流大会、議会傍聴、講演会
 - 9月 ゆうあい園見学
 - 10月 町内施設見学、子育て交流大会参加
 - 11月 大中遺跡まつり参加
 - 12月 フラワーアレンジメント
 - 1月 お料理(フレイブル予防)味噌づくり
 - 2月
 - 3月 反省会

町において婦人会組織を維持しなければ、災害時のボランティアや他県との交流などもできなくなってしまうので、町内施設の見学や料理教室などを企画し、町を単位としてゆとりとした交流の輪を広げ、みんなで楽しく活動してまいります。

播磨町に引っ越して来られた方も是非とも「播磨町連合婦人会」への参加をお待ちしております。

連絡先
播磨町連合婦人会
会長 吉村ヨシエ
☎079-436-6802

これからのまちづくりと地域活動についてフォーラムが開催されました

播磨町は今年、町制施行60周年を迎えました。それを記念して、播磨町自治会連合会がフォーラムを開催し、メイン会場の役場と4コミセンをオンラインで中継しました。

播磨町には45の自治会があります。播磨町自治会連合会はその45自治会からなる連合組織です。今回、町制施行60周年を記念して、初めてフォーラムを開催しました。フォーラムの内容は、石井大朗先生(宇都宮大学)の話題提供、町内在住者によるパネルディスカッションでした。若者世代を中心にしたパネルディスカッションは、自治会連合会役員の皆さんの発案でした。石井先生からは、「課題解決より主体形成」という話題提供がありました。まずはやってみる、やってみようと思う人が増えることが大切で、課題解決はその先にあるといったお話でした。パネルディスカッションは、ここ数年で町内に転入してきた若者世代を中心に、播磨町の良いところ、これからこんなまちになってほしいといった話をしました。議論の中では、播磨町は



▲町長と4人のパネラー

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする

まちアド通信

協働推進課住民協働係
☎079(435)2364